

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	国際情報学部	身分	教授
氏名	橋本 健広		
NAME	TAKEHIRO HASHIMOTO		

1. 研究課題

（和文）19世紀イギリス文学における文学共同体のダイナミズムに関する研究

（英文）Nineteenth Century English Literature and its Dynamism of Literary Community

2. 研究期間

2年間（2020、2021年度）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

文学研究はテキストの精読や文学理論・歴史事象に依拠したテキストの読みという研究が主流であるが、量的分析を取り入れることで読み中心の研究とは異なる角度の理解が得られるものと思われる。

本研究は、19世紀イギリス詩や演劇作品にみられる他の時代・文化圏に属する作品の取り入れを、詩的持続可能性と多文化共生という観点から考察し、フランス革命やグローバル化といった変容する時代に特有と思われる文学的傾向を、データ視覚化の量的分析を用いて探索し、文学共同体が構築されるダイナミズムを明らかにすることが研究の主眼である。本研究では、詩的持続可能性とは、他の時代の作品を典拠とすることで文学上のアイデンティティを確立しようとする活動を意味し、多文化共生とは、多文化と協調および対立しながら自己の内部に取り入れ文学空間を拡張する活動とする。

2020年度はイギリス文学の過去からの影響について、19世紀イギリス・ロマン派詩人 S.T. コウルリッジの詩と、17世紀のイギリス詩人ジョン・ミルトンの『失樂園』との類似性を調べた。この研究から、作品間の類似性を調べる量的分析の手法の可否を確認する予定である。2021年度はペルシア文学の流入として19世紀ロマン派詩人トマス・ムアの詩とペルシア文学に位置づけられる文献『バハーリ・ダーニシュ』との類似を調べた。この研究では情報探索の分析手法を用い、適切な手法と考えられるため、対象を広げた分析を行う予定である。研究成果は2年以内に発表予定である。

(英文)

This study investigates the influence of past poems and poems in different culture on nineteenth century English poems, using quantitative methods. The similarities between S. T. Coleridge's poems and *Paradise Lost*, and that between Thomas Moore's and an Persian influential work are examined in 2020 and 2021 respectively. The findings will be published in two years.